
II 章 中央構造線断層帯の評価

- II 1. 海域(伊予灘)の調査結果
- II 2. 陸域(四国北西部)の調査結果
- II 3. セグメント区分
- II 4. 断層傾斜角

II 1. 海域(伊予灘)の調査結果

II 1. 1 伊予灘の地質区分

II 1. 2 伊予灘の海底地形

II 1. 3 海底下浅部の調査結果

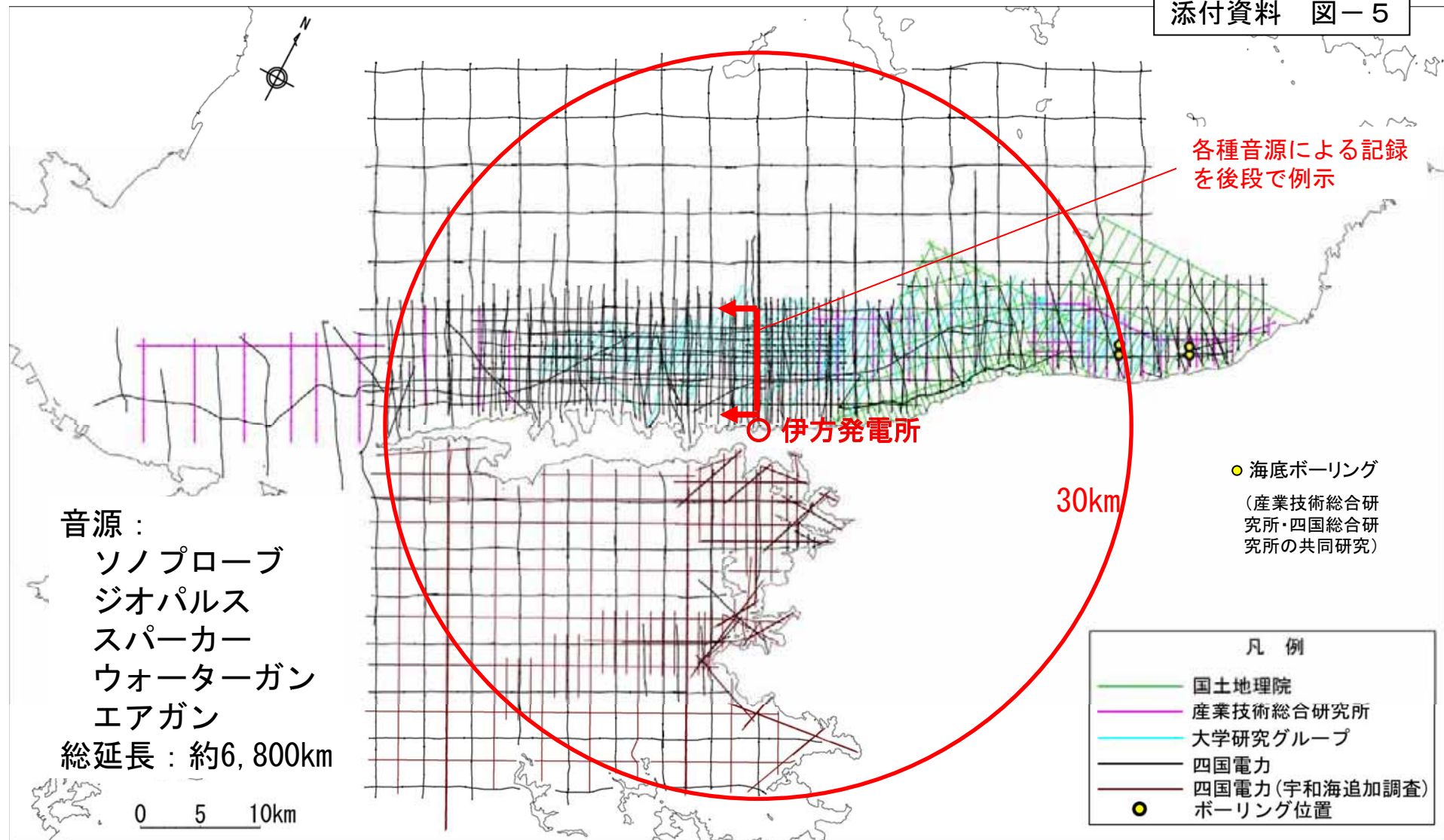
II 1. 4 海底下深部の調査結果①
(反射法探査結果)

II 1. 5 海底下深部の調査結果②
(屈折法探査結果)

II 1.1 伊予灘の地質区分

// 1. 1-1 調査内容(海上音波探査測線図)

添付資料 図-5



// 1. 1-2 海底下浅部の地質区分

地質区分	反射パターンの特徴				推定される地層 および主な分布地域
	ソノプローブ	ジオパルス	スパーカー	ウォーターガン	
A層	・全般に白抜けである ・水平に連続するパターンが多数見られる ・下位層とは明らかな不整合で接する	・非常に連続性の良いほぼ水平な縞状のパターンが多数見られる ・下位層とは明らかな不整合で接する	・全般に白抜けである ・微弱な層理およびゴマ塩状のパターンが見られる ・下位層とは明らかな不整合で接する	・内部構造は不明瞭である ・下位層とは明らかな不整合で接する	・未固結の泥質および砂質の地層 ・最下部は海進期の礫質の地層 ・ほぼ全域に分布するが、沿岸部、長浜沖、豊予海峡周辺等で分布を欠く
D層	・上面に濃い凹凸のパターンが見られる ・内部構造は不明瞭である	・連続性の良い縞状のパターンが多数見られる ・ほとんど褶曲構造を示さない ・下位層とは明らかな不整合で接する	・ほぼ水平に連続する層理、部分的にゴマ塩状のパターンおよび斜交層理が見られる ・ほとんど褶曲構造を示さない ・下位層とは明らかな不整合で接する	・連続性の良い水平なパターンが多数見られる ・下位層とは明らかな不整合で接する	・未固結～半固結の泥質、砂質および礫質の地層 ・ほぼ全域に分布するが、島の周辺部、長浜沖、豊予海峡周辺等で分布を欠く
T層	・探査深度外	・連続性の良い縞状のパターンが多数見られる ・一般的に緩く傾斜する層理を示すが、局所的に褶曲構造が見られる ・下位層にオンラップする	・連続する数条の平行層理、部分的に斜交層理および波状パターンが見られる ・一般的に緩く傾斜する層理を示すが、局所的に褶曲構造が見られる ・下位層にオンラップする	・連続性の良い水平または緩く傾斜するパターンが多数見られ、局所的に褶曲構造が見られる ・下位層にオンラップする	・半固結の泥質、砂質層の互層（伊予灘層） ・ほぼ全域に分布するが、島の周辺部、豊予海峡周辺等で分布を欠く
B層	・探査深度外	・上面は急角度で傾斜する ・内部構造を全く示さない	・上面は急角度で傾斜する ・内部構造は全般に不明瞭である ・部分的に急傾斜の平行層理が見られる	・上面は急角度で傾斜する ・内部構造は全般に不明瞭である ・部分的に急傾斜の平行層理が見られる	・硬質岩盤 ・ほぼ全域で最下層として分布すると推定される ・沿岸部、島の周辺部、豊予海峡周辺等で分布を確認できる

II 1. 1-3 地質区分と陸域の地層との対比

地質時代			四国電力(株)による		電力中央 研究所 (1975)	国土地理院 (2001)	産業技術 総合研究所 (2002)
			陸域の 地質区分	海域の 地質区分			
新生代	第四紀	完新世	沖積層	A	A	A	A ←
		更新世	低位段丘礫層 ～ 高位段丘礫層	D	D	D	D
			八倉層				T1
	新第三紀	鮮新世	郡中層	T (伊予灘層)	T (伊予灘層)	Tu Tm Tl	T2
		中新世	瀬戸内火山岩類	B	V		
中生代	古第三紀						
	白亜紀		和泉層群		C	C	
			四万十累層群 領家花こう岩類	B			
	ジュラ紀		三波川変成岩類 秩父累帯の構成岩類		S	R	B
	三畳紀						

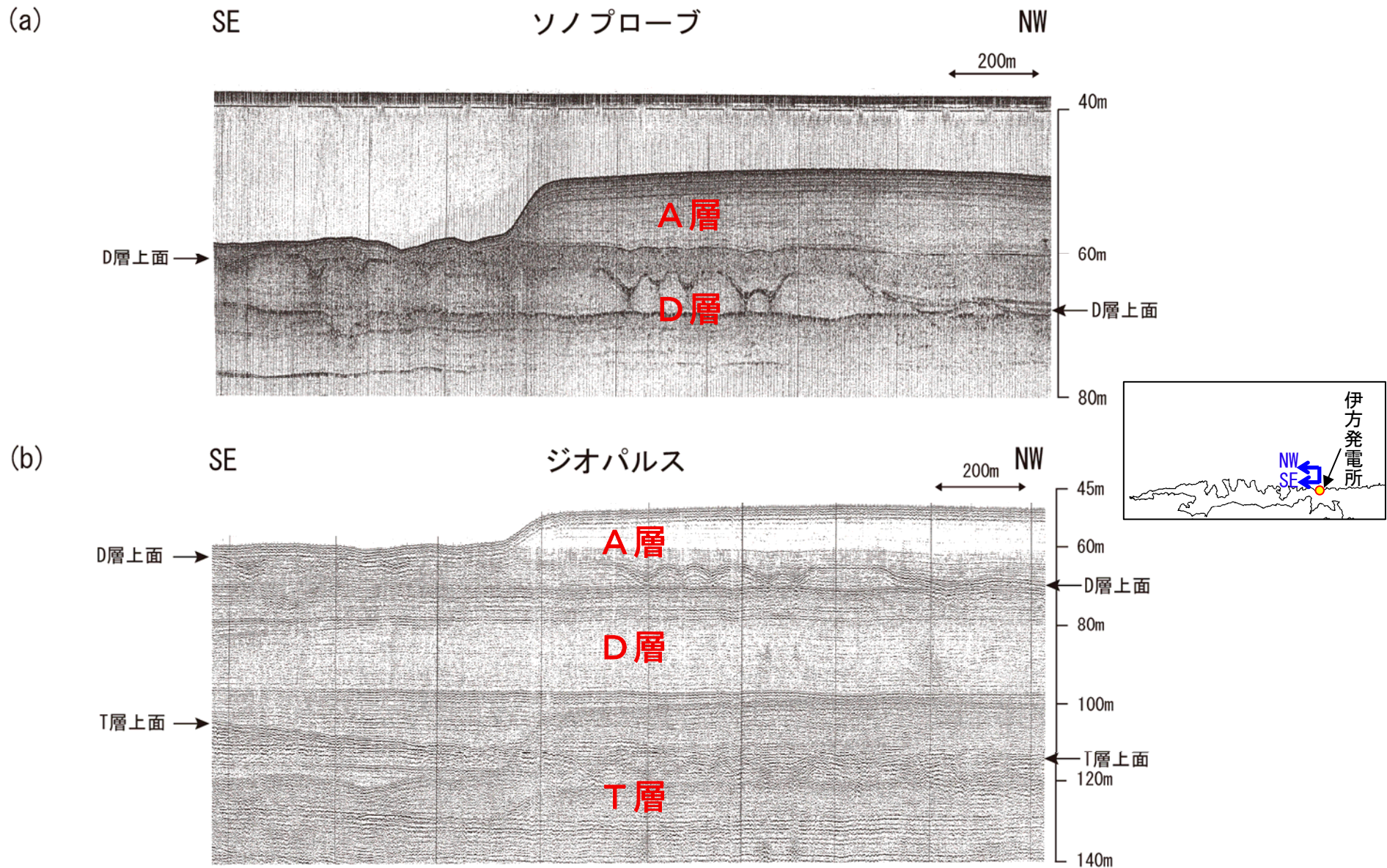
~~~~~ :不整合      ——— :整合

海底ボーリングで年代確認

電力中央研究所(1975), 国土地理院(2001), 産総研(2002)と同様の地質区分

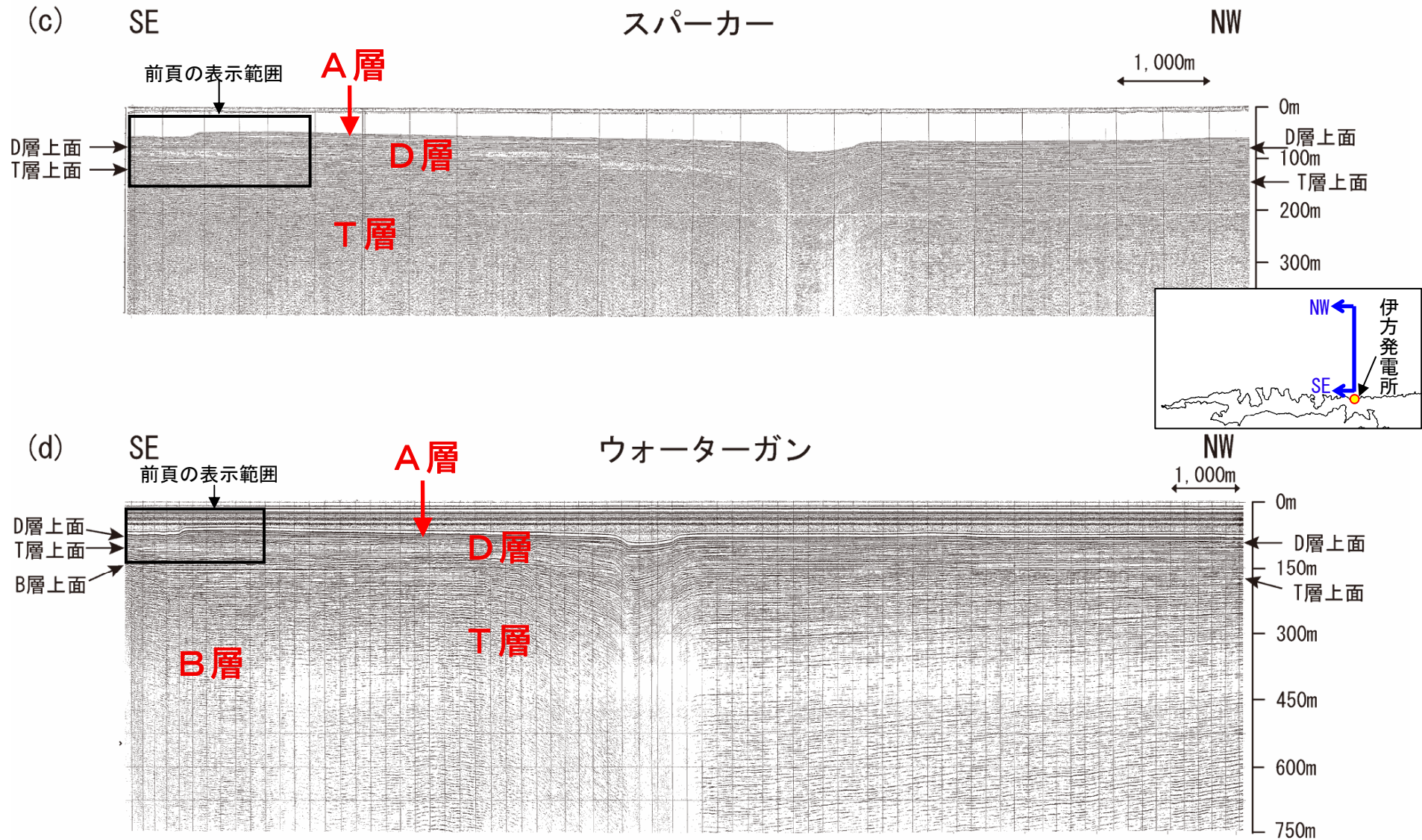


## II 1. 1-4 音波探査記録による地質区分例(1)





# II 1. 1-5 音波探査記録による地質区分例(2)

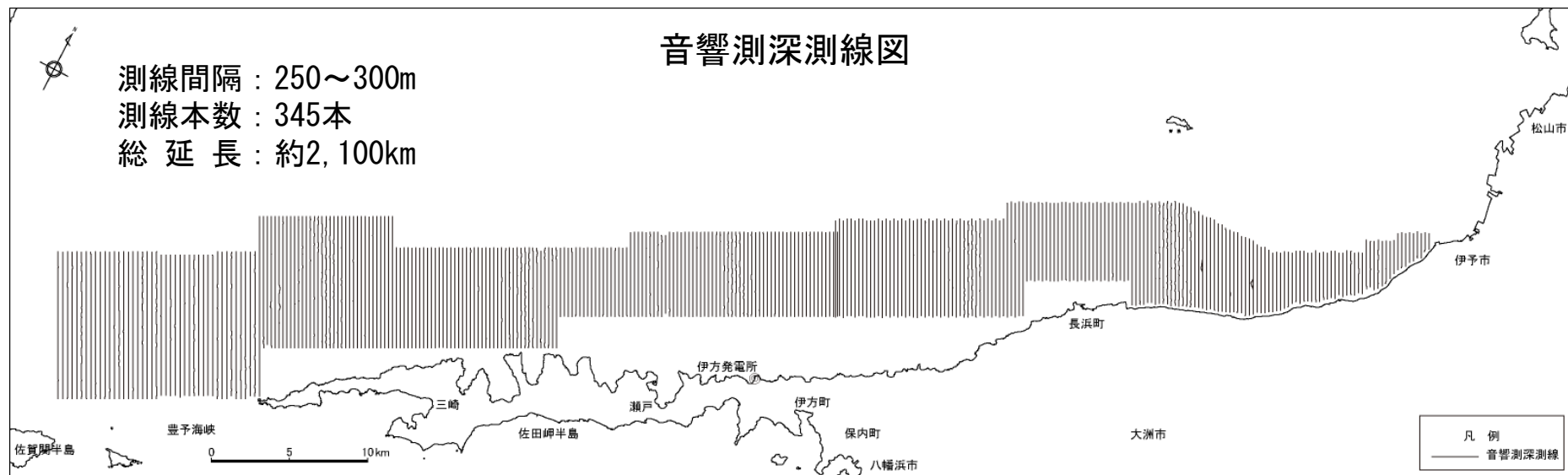




---

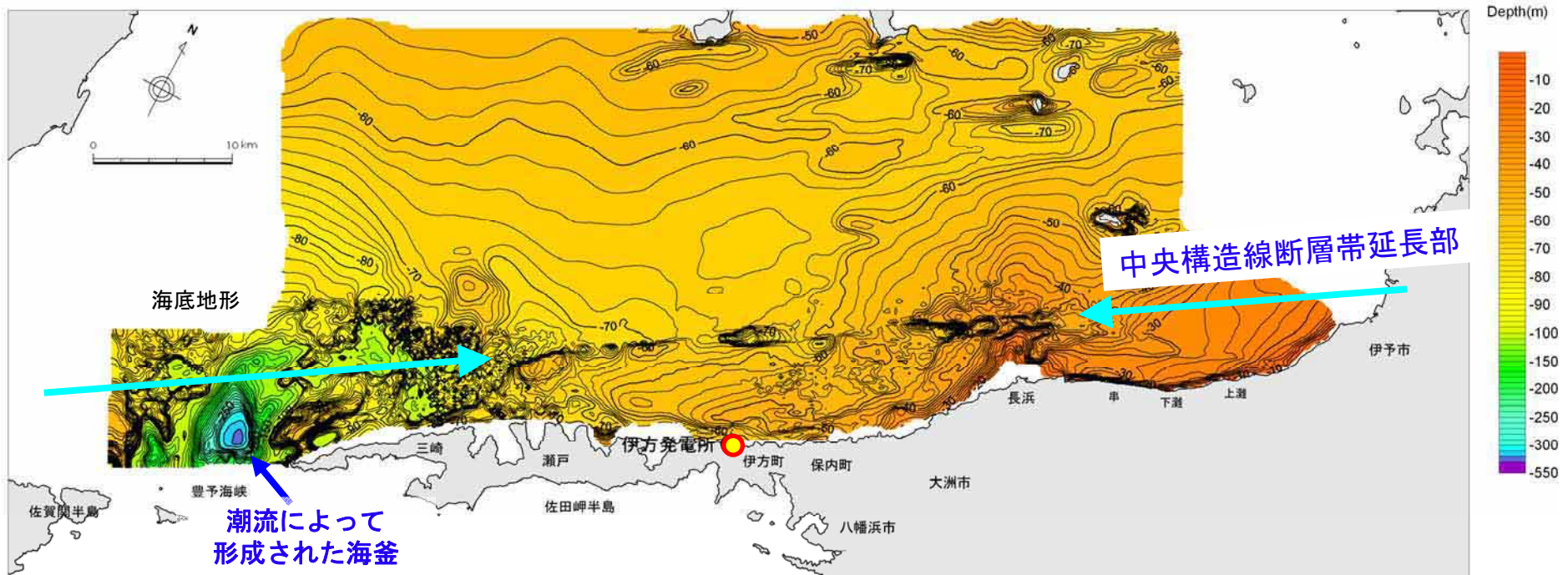
## II 1.2 伊予灘の海底地形

## // 1. 2-1 音響測深測線図

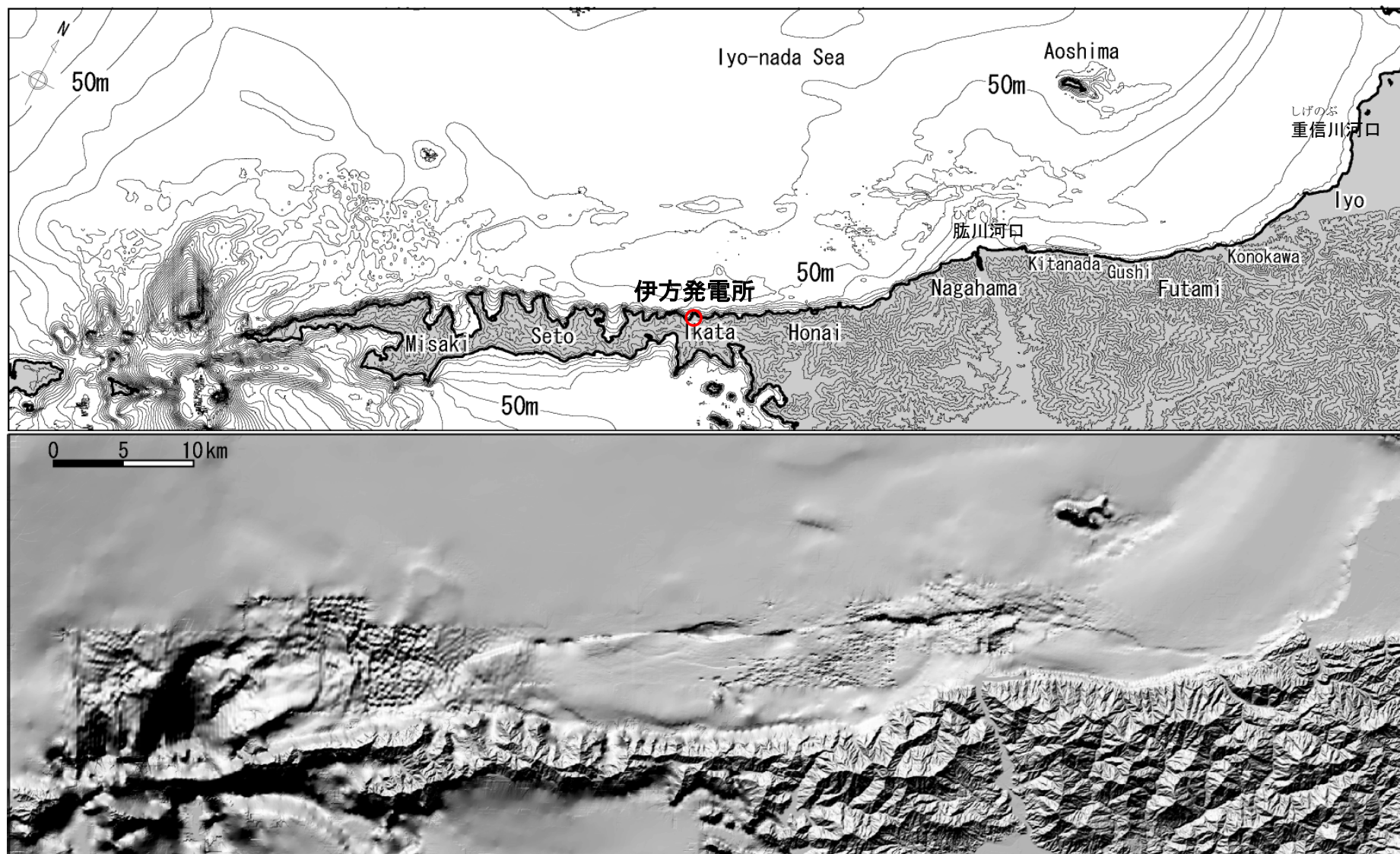


## // 1. 2-2 海底地形

- 海底地形には、中央構造線断層帯の延長部に細長い凹みと高まりが直線状に配列する。
- 海域西部では、卓越する潮流によって起伏の著しい海底地形が形成されている。



## // 1. 2-3 海底地形(陰影図)



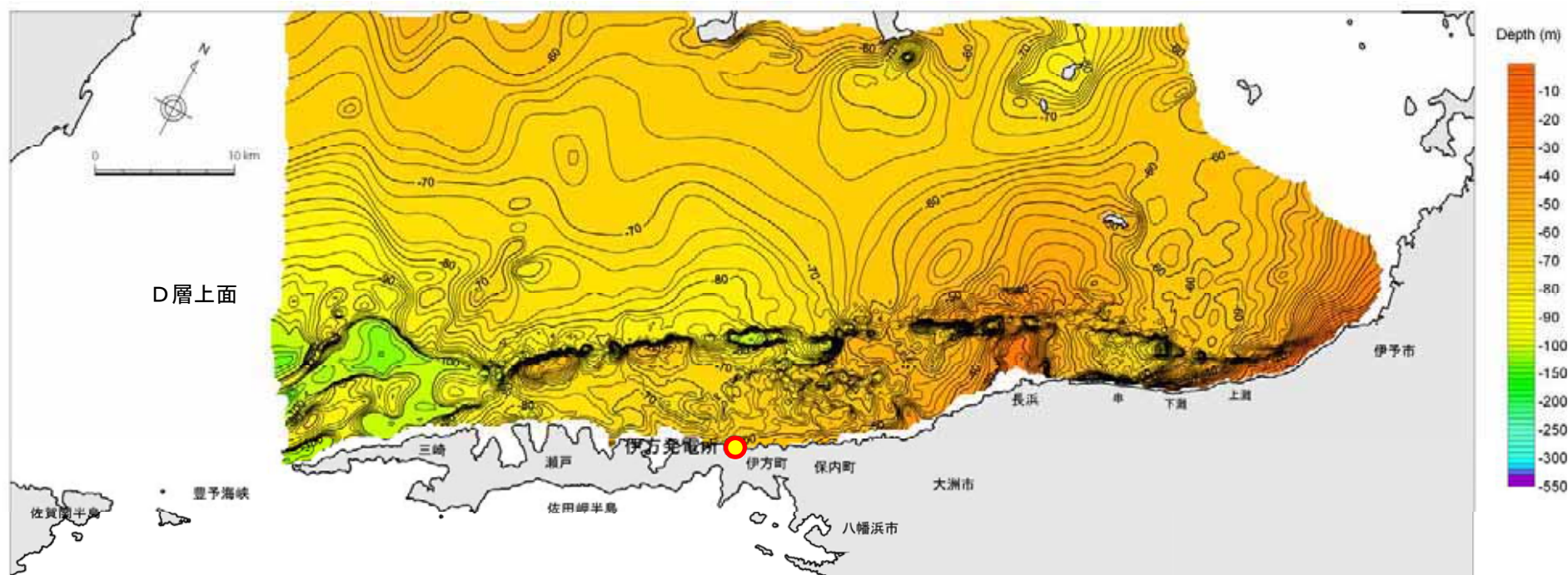
※陰影図では海底地形を30倍に誇張して表示



## II 1. 2-4 海底下浅部の地層上面図(D層上面)

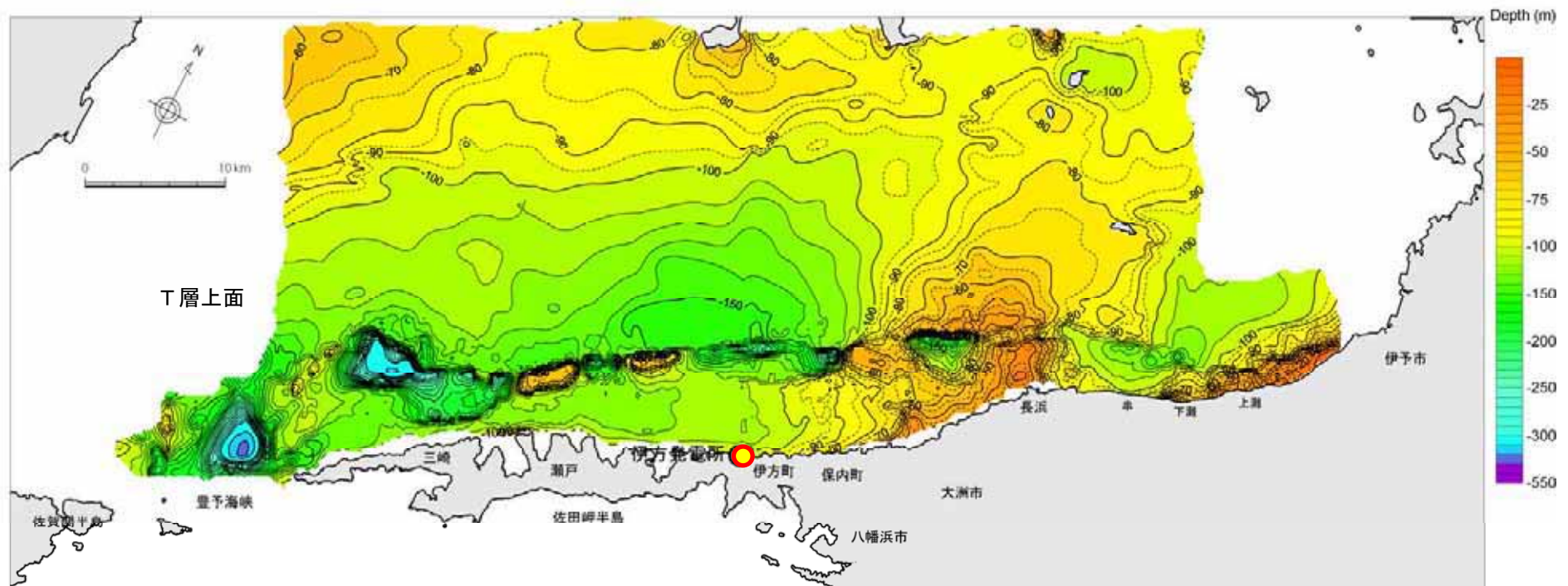
○D層上面では、中央構造線断層帯の延長部にみられる細長い凹みと高まりが海底面よりも比高を増しており、地層の変形の累積性が認められる。

○その他に累積性を示唆する構造は認められない。



## II 1. 2-5 海底下浅部の地層上面図(T層上面)

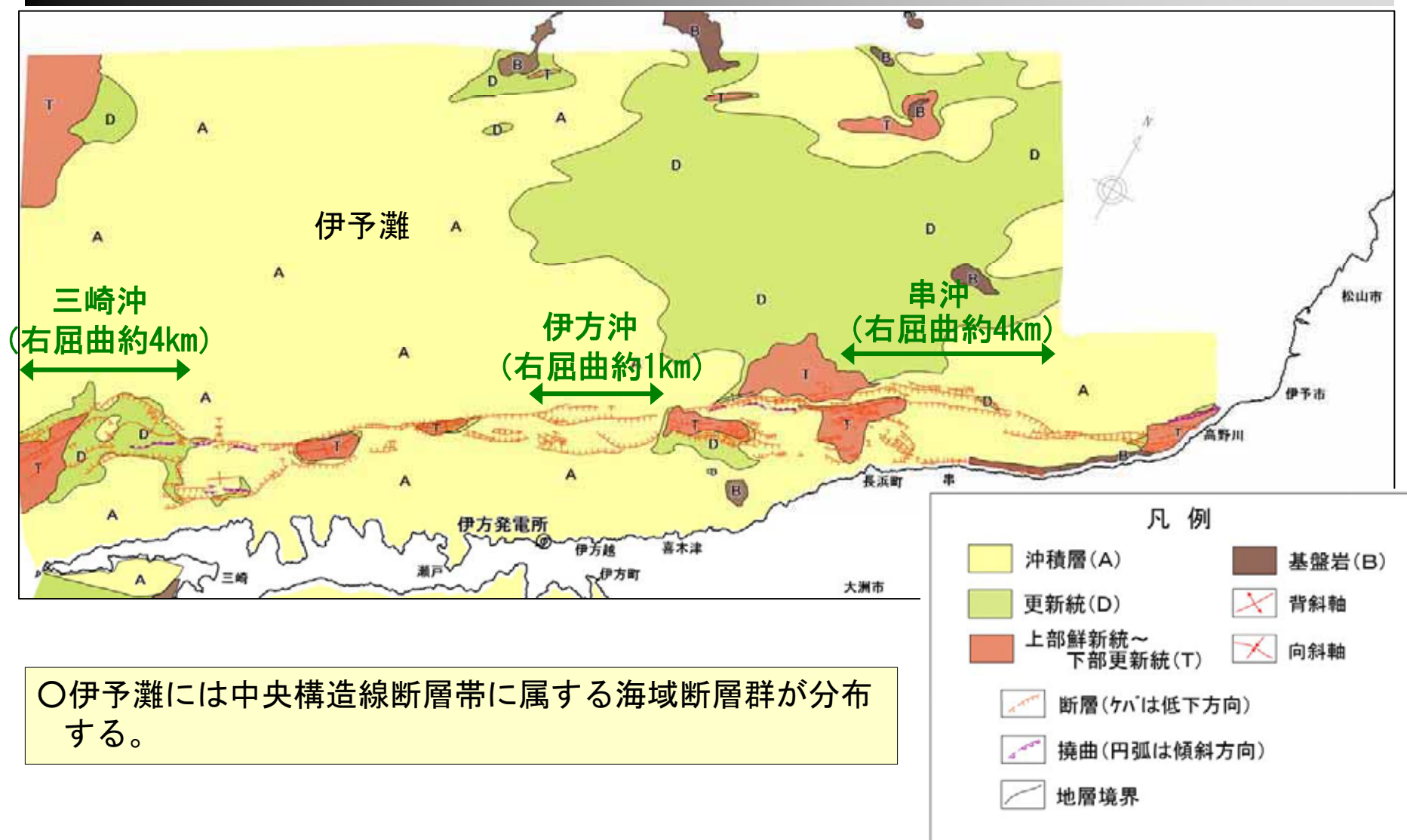
- T層上面では、地層の変形がさらに累積している。
- 各面の形状を対比することで、地層の変形の累積性から中央構造線断層帯による変動地形を認識できる。その他には累積的な変動はみられない。



---

## II 1.3 海底下浅部の調査結果

## II 1. 3-1 海底下浅部の地質・地質構造

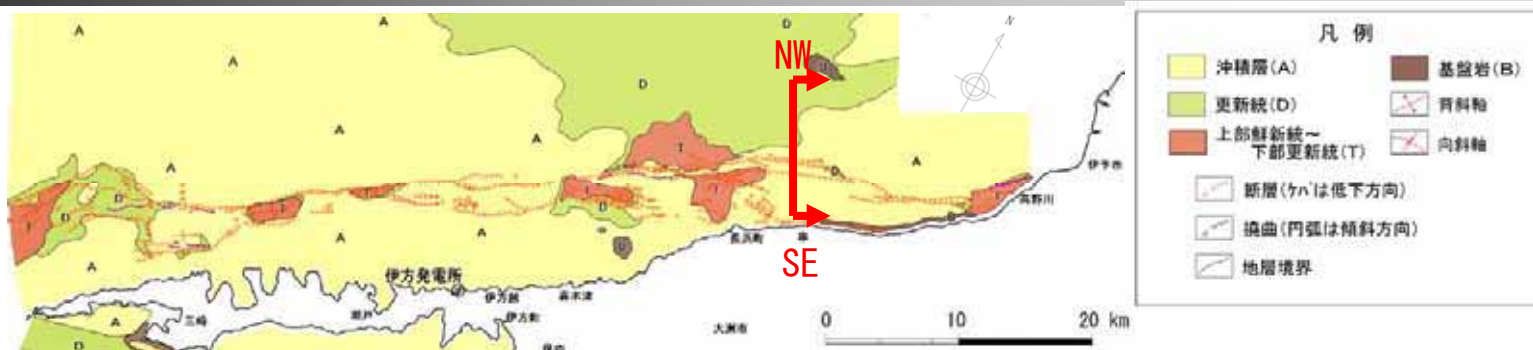


○伊予灘には中央構造線断層帯に属する海域断層群が分布する。



# II 1. 3-2 海底地質断面図(串沖)

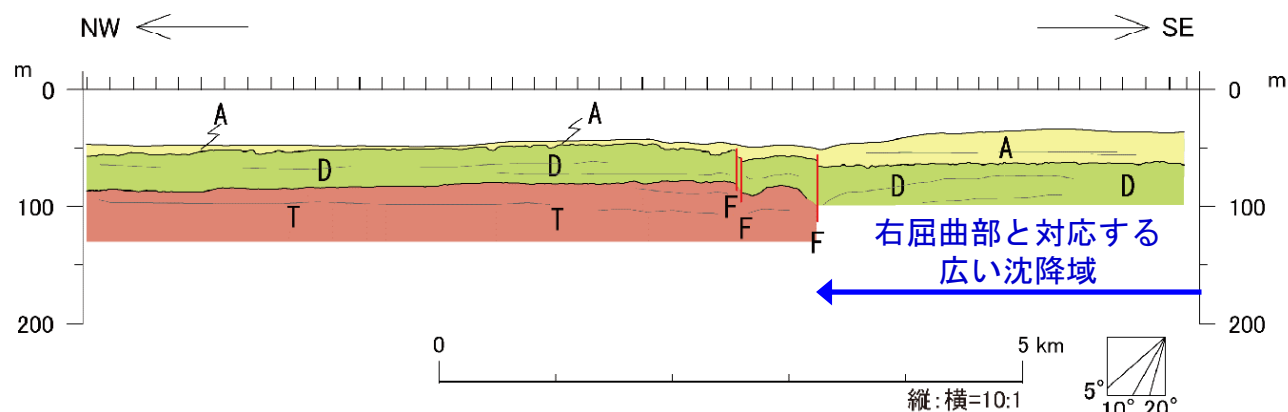
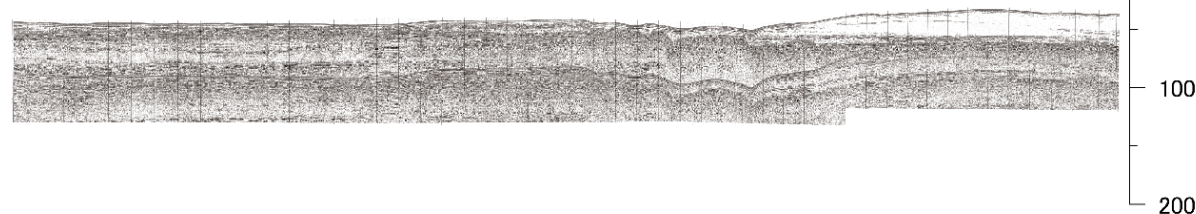
添付資料 図-6



NW

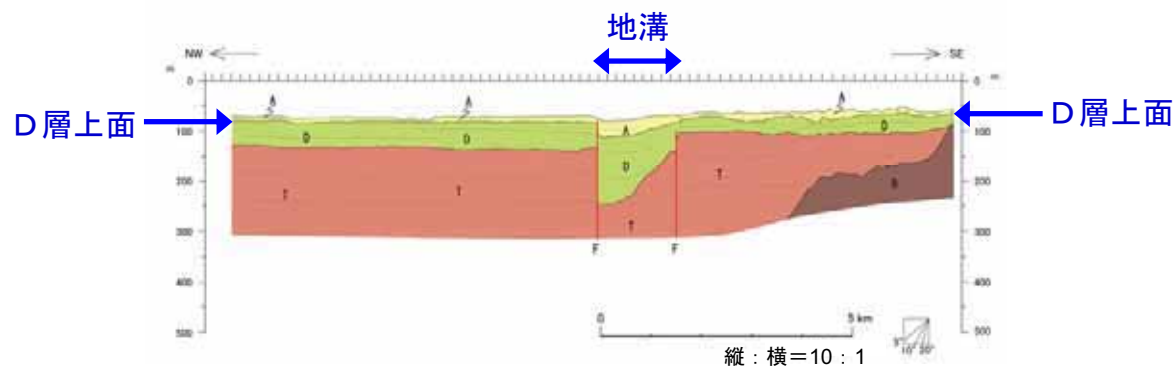
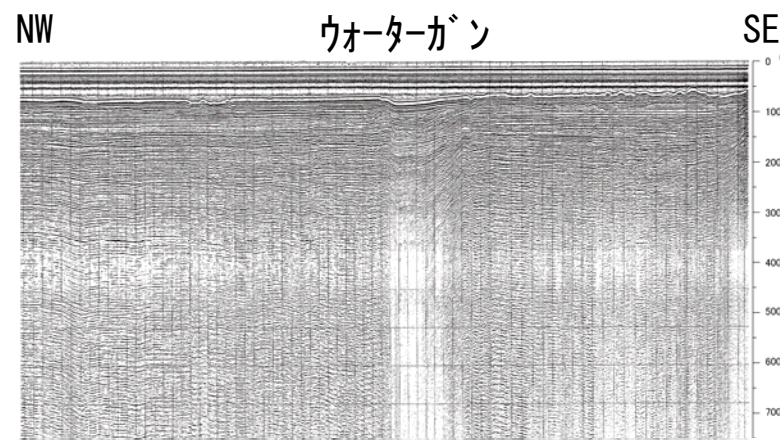
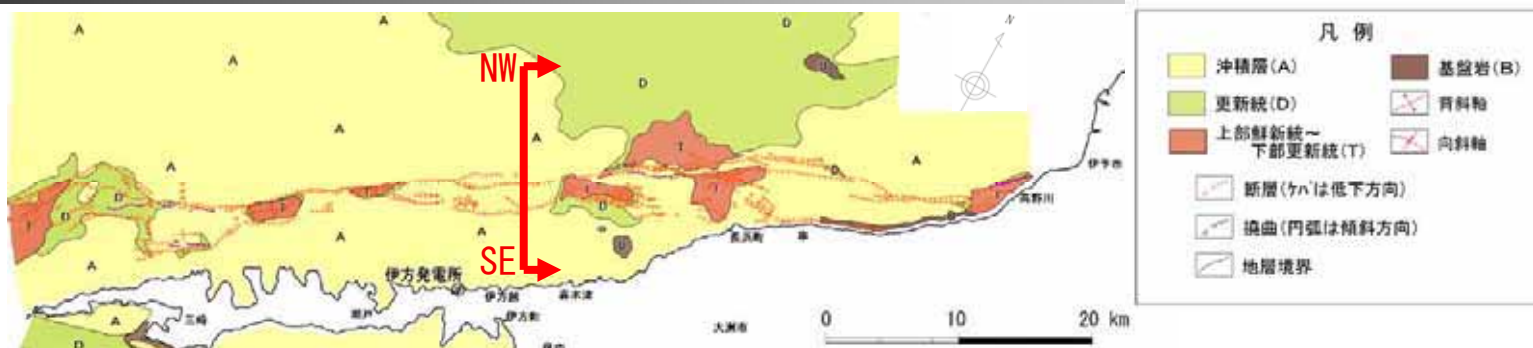
ジオパルス

SE



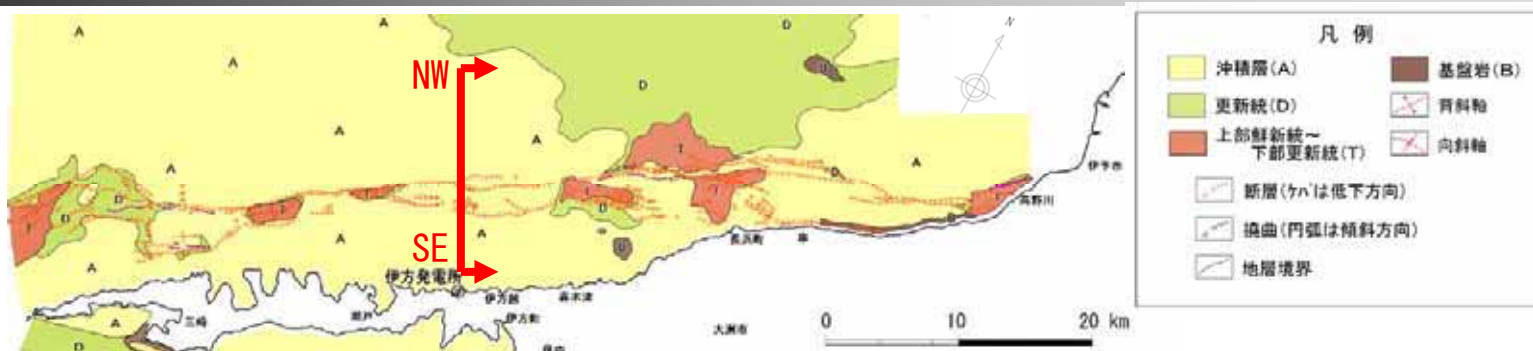
# II 1. 3-3 海底地質断面図(保内沖)

添付資料 図-7



# II 1. 3-4 海底地質断面図(伊方沖)

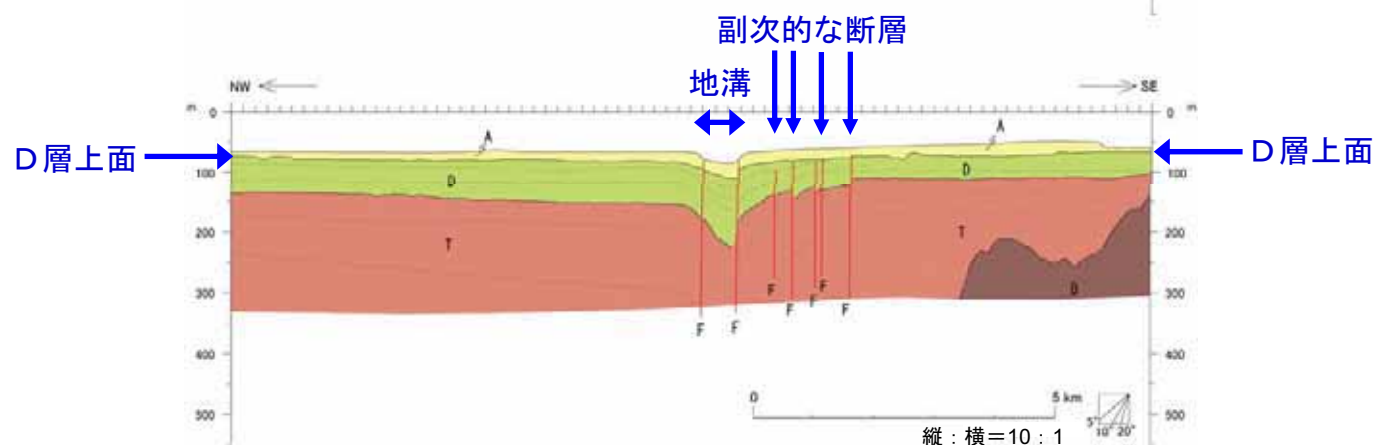
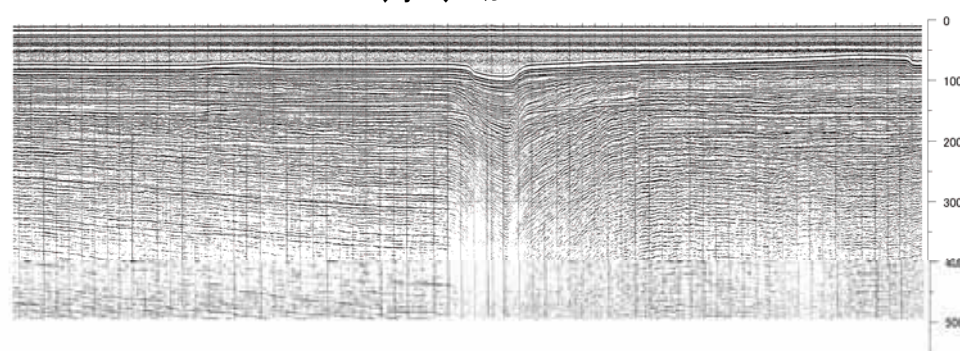
添付資料 図-8



NW

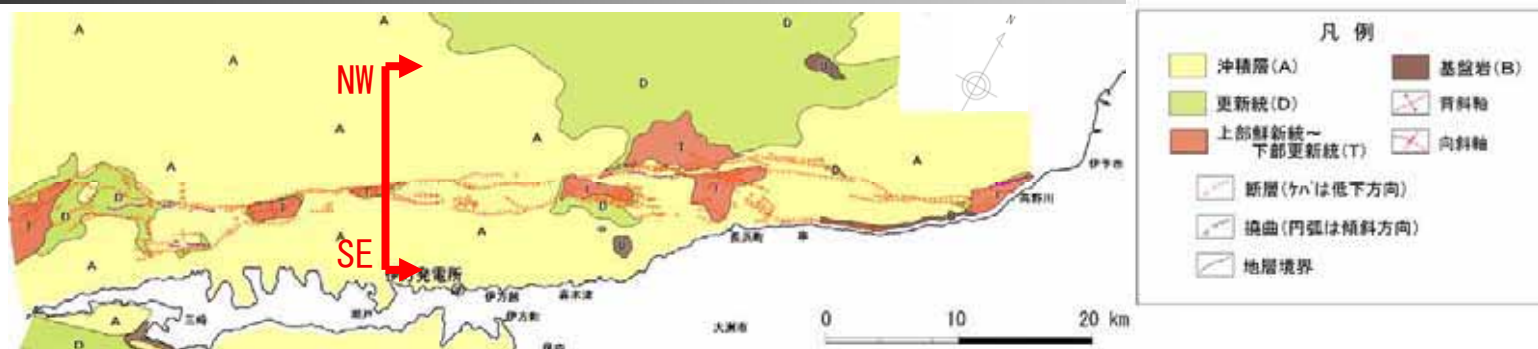
ウォーターガン

SE



# II 1. 3-5 海底地質断面図(瀬戸沖)

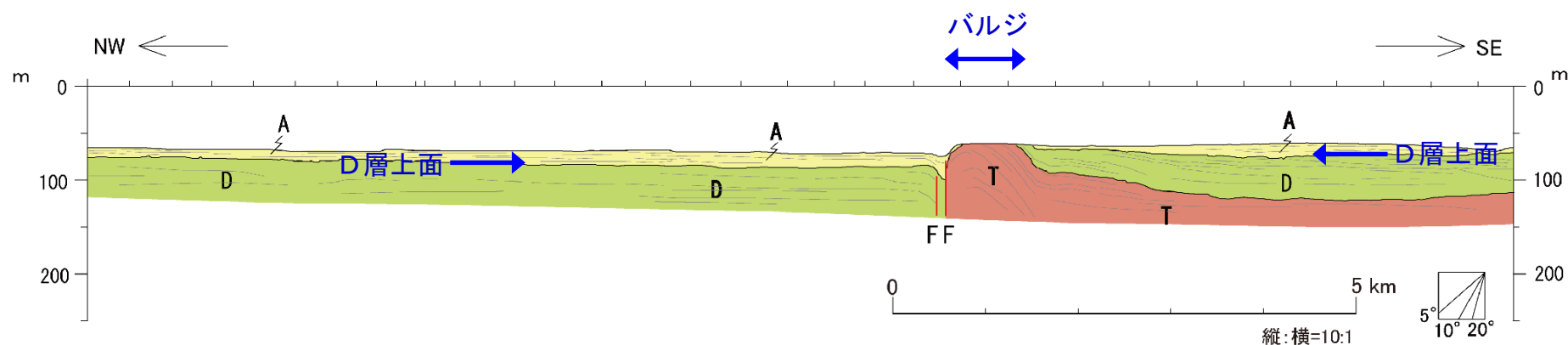
添付資料 図-9



NW

ジハ°ル

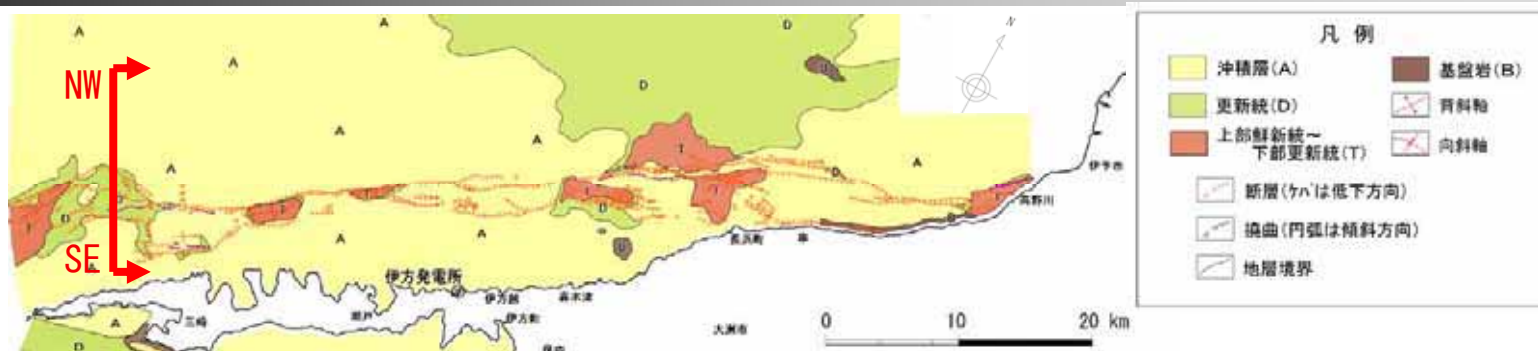
SE 0 m





# II 1. 3-6 海底地質断面図(三崎沖)

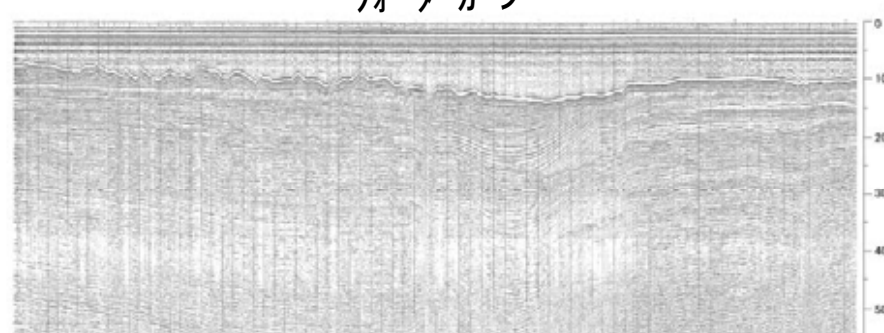
添付資料 図-10



NW

ウォーターガン

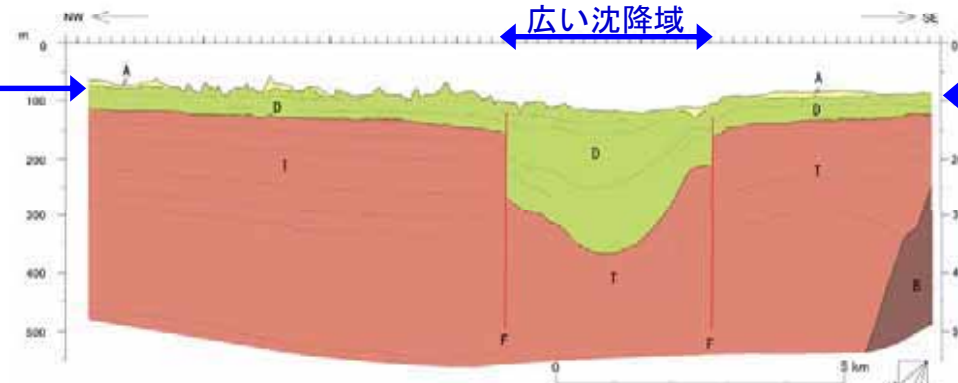
SE



右屈曲部と対応する  
広い沈降域

D層上面

D層上面



縦：横=10：1

## // 1. 3-7 海底下浅部の調査結果

---

- 中央構造線断層帯は、沖積層を変位させ、海底面にも変形を与える高角度の活断層として認められる。
- 活断層の分布域には、横ずれ断層変位に伴って形成された地溝やバルジがみられる。
- 断層分布域の南北でD層上面に顕著な標高差は認められず、横ずれの卓越する断層運動が推定される。
- 変位の累積しているT層上面では、断層分布域の南北でやや北落ちの標高差が認められ、わずかに正断層成分を有すると推定される。